

たんぽぽ出張研修会（認知症ケア） アンケート集計表

<日 時> 令和8年1月28日（水） 14:00～15:00

<場 所> 朝日町立病院

<テーマ> 認知症ケア「認知症のある方との関わり方 ―迷ったときに立ち止まる視点―」

<講 師> 独立行政法人 国立病院機構 山形病院 認知症看護認定看護師 高橋 聡 子 氏

<参加者数> 16人 (看護職 7人、看護補助者 4人、介護支援専門員 1人、理学療法士 1人、リハビリ補助者 2人、医学生 1人)

1 アンケート 回 答 者 (15人)

職 種	人数	経験年数				
		～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41年～
看護職	7		1	2	1	3
看護助手	4	4				
理学療法士	1	1				
リハビリ補助者	2	1	1			
その他(医学生)	1	1				
合 計	15	7	2	2	1	3

2 理解度

よく理解できた	10
概ね理解できた	5
あまり理解できなかった	0
合 計	15

3 今後の業務に活かされますか？

活かせる	14
少し活かせる	0
あまり活かさない	0
無回答	1
合 計	15

4 所 感 （良かったところ・気付いたところ・今後に活かしたいところ）

- 「3つの視点」を知ることができて良かった。仕事だけではなく、子育てにも活かせるかと思った。先生の体験談も聞くことができて、完璧じゃなくても良いんだと思った。
(看護職)
- 普段の自分の行動や患者さん、利用者さんとの関わり方、向き合い方を振り返ることができました。
とても分かりやすい内容でした。(看護職)
- 常日頃、目の前にある業務のことを考えてしまい（時間を気にして）、患者さんの気持ちに目が行かなくなっています。「間」を考え、一呼吸整えて患者さんに向き合おうと思いました。ありがとうございました。(看護助手)
- どうしても忙しいと急いでしまう時がありますが、“待つ” “間” はとても大切なんだと思いました。(リハビリ助手)

- 具体例をあげたり、実際に時間を取って体験したりという記憶に残りやすい研修会だった。学生のうちからこういったことも教えていただけると、関わり方についてマインドが醸成されやすいと思う。（医学生）

5 今後、出張研修会で知識を深めたいテーマ

- 身体拘束について（看護職）
- 感染対策（看護助手）
- 寝たきりの人の口腔ケア、うがいできる人、できない人（看護助手）
- 他職種との関わり合いも含めたテーマがあると面白いと思います。（医学生）

